

ひびきあい

学校教育目標
「やさしく かしく たくましく
自分のよさを生かして
未来を創ろうとする子ども」
の育成

令和8年4月24日 校長 重松 景二

愛でいっぱい、学びでいっぱい、遊びでいっぱいの学校にする
アップデートしよう（未来を創る子どもたちのために）

気分は春でも 暑いです…

朝はひんやりとする日もありますが、日中は春らしい暖かさが続いています。時には、夏の訪れを感じるような陽気の日もあります。新年度がスタートして、早くも2週間がたちました。子どもたちは、ご家庭で学校の様子を話しているでしょうか。新しい先生や新しい学級にも少しずつ慣れ、楽しく学校生活を送ってくれていることを願っています。



1年生を迎え、本格的に学校生活が始まっています。6年生が1年生のお世話をする姿も、これからさまざまな場面で見られることでしょう。とても楽しみです。この「お世話をする」という活動は、6年生にとっても多くの学びを得る貴重な機会です。多くの子どもたちに経験してほしいと願っています。

全員がそろってのスタート 入学式を行いました…

14日（火）に入学式を行いました。真新しい制服に身を包み、にこにことした笑顔や、きりっと引き締まった表情のかわいらしい新入生55名が入学してきました。当日は、来賓として地域の方々にも多数ご来場いただき、ありがたく感じております。式では、私の話や教育委員会の告示、来賓の祝辞と続きましたが、多くの子どもたちがしっかりと耳を傾け、静かに聞くことができていました。教室でも落ち着いて学びに向かってくれることを期待し



ています。この入学式の準備には、6年生が大きな役割を果たしました。全校を代表し、一人一人が「1年生のために」という思いをもって、心を込めて熱心に取り組みました。さすが6年生です。これからの活躍も楽しみです。

卒業式の別れの言葉によく「小さな体に大きなランドセル」という表現があります。登下校の様子を見ていると、まさにその通りだと感じます。「言い得て妙」とはこのことだなど思いながら、日々子どもたちを見送っています。

めざす学校の姿 愛でいっぱい、学びでいっぱい、遊びでいっぱい…

学校だより第1号では、めざす学校の姿について紹介しました。今回は、その内容をもう少し詳しくお伝えします。まず「愛でいっぱい」について、「愛」という言葉は、大切に人やお物に対して使われることが多い言葉です。異性間だけでなく、親子や家族など人と人との関係、またペットやお物など、人と物との関係にも使われます。したがって、「愛でいっぱいの学校」とは、まず自分自身を大切に、次に周りの人や物を大切に、そのような学校です。次に、「学びでいっぱい」について、学校は学びの場ですので、「学びでいっぱい」であることは当然です。しかし、今、特に大切にしたいのは「考える」ということです。授業中はもちろんのこと、休み時間などにおいても、自分なりにしっかり考える姿勢を育てていく、そのような学校です。最後に、「遊びでいっぱい」について、遊びは、子どもたちの成長に大きく影響します。楽しく生きることはとても大切であり、遊びを通して学ぶことも多くあります。また、人間関係などの社会性を育む上でも重要な役割を果たします。ですから、時間があればしっかり遊ぶことも大切に、そのような学校です。「ひがしせふり」で〇〇な学校というのも変更しました。それについては次回にでも。